

十勝岳

1 平成 15 年の活動概況

2 月 8 日に規模のやや大きな火山性微動が発生しましたが、噴煙等の表面現象に異常はありませんでした。その後も 6 月中旬までに数回規模の小さい微動が発生しました。62-2 火口の噴煙量や火口温度は低下する傾向が見られますが、噴煙活動は依然活発で火口温度も 300 以上と高温状態が続いています。

平成 15 年の主な火山活動、その他関連する業務概要等

時期	火山活動及び業務概要
2 月 8 日 2 月～6 月	[火山活動] 規模のやや大きな火山性微動発生（継続時間約 37 分） 微動は 6 月までに 6 回発生したが、規模は次第に小さくなる
	[その他]
2 月 18～20 日	十勝岳噴火総合防災訓練
5 月 20 日	上空からの観測実施（北海道の協力による）
6 月 16～21 日	調査観測実施
6 月 18 日	上空からの観測実施（北海道開発局の協力による）
7 月 21～26 日	地震計 4 点設置
9 月 7～12 日	調査観測実施

火山情報の発表状況

火山情報名	発表日時	概要
臨時火山情報第 1 号	2 月 8 日 08 時 35 分	微動の発生、噴火の可能性あり、噴煙状況不明
火山観測情報第 1 号	2 月 8 日 10 時 00 分	聞き取り調査の結果降灰なし、地震低調、微動その後なし
火山観測情報第 2 号	2 月 8 日 13 時 20 分	上空からの観測結果（降灰なし、地熱の状態に変化なし）地震低調、微動なし
火山観測情報第 3 号	2 月 8 日 15 時 20 分	地震活動・噴煙活動に異常なし

2 地震活動の状況

2 月 8 日に火山性微動が発生しました。この微動は 1988～89 年の噴火活動後では継続時間が最長（約 37 分）で振幅も比較的大きかったことから噴火が発生した可能性も考えられました。しかし、微動発生後に北海道庁の協力で実施した上空からの観測では火口周辺に降灰はなく、噴火はなかったと判断しました。なお、微動の発生前後で地震活動等の観測データに変化は見られませんでした。その後、微動は 6 月までに 6 回発生しましたが、規模は次第に小さくなりました。

地震活動は、9 月下旬の十勝沖地震の直後に一時的に地震が増えた以外は顕著な増加は見られず、比較的低調に経過しました。

月別地震・微動回数

2003 年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
地震回数 H 点	93	58	41	44	60	24	35	26	106	62	36	36
地震回数 A 点	16	16	9	18	14	9	9	5	40	16	9	12
微動回数 H 点	0	2	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0

3 噴煙活動の状況

62-2 火口では活発な噴煙活動が続き、噴煙高度は概ね火口上 200～300m で推移しました。

4 地殻変動の状況

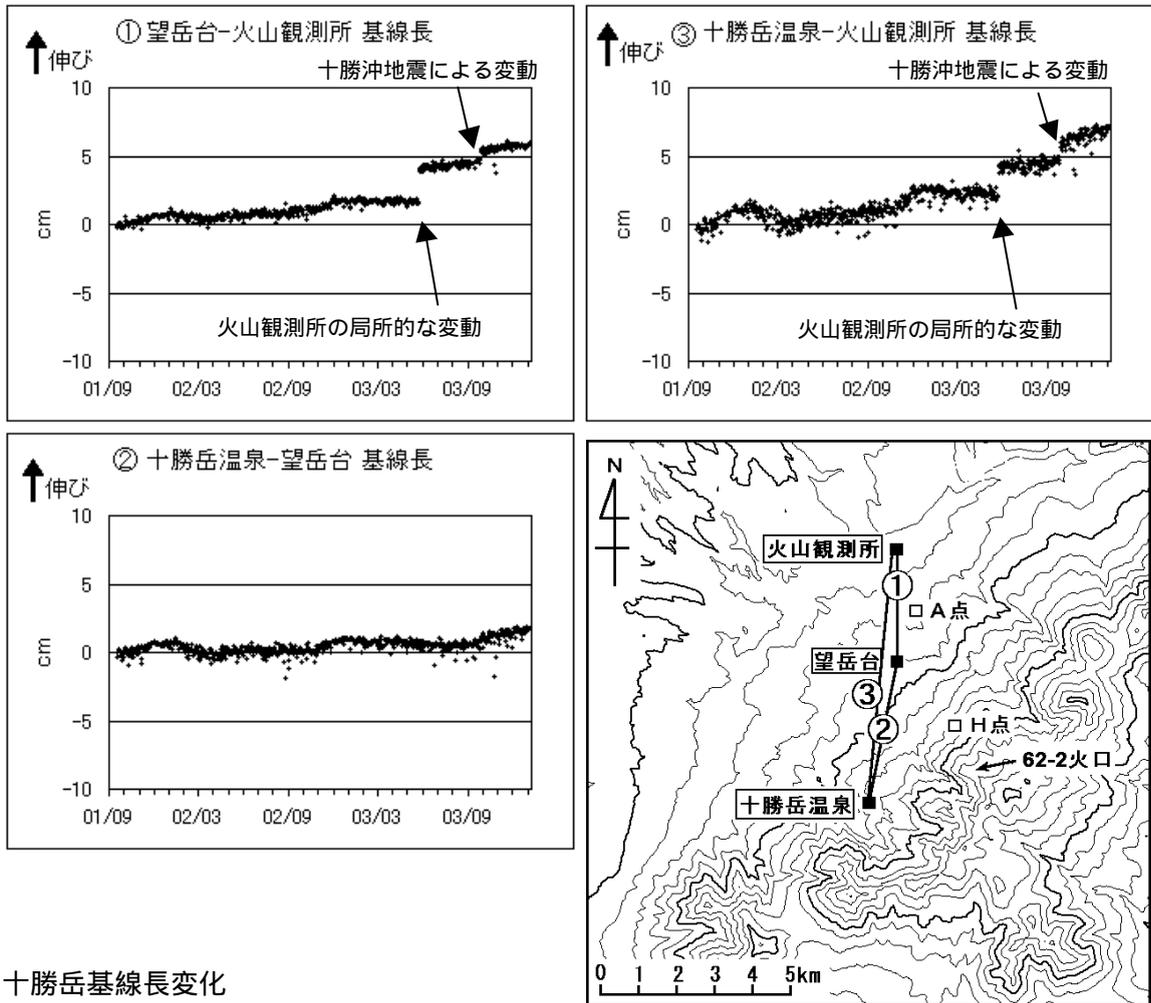
GPS 観測では、火山活動に起因すると考えられる変化はありませんでした。

5 調査観測の結果

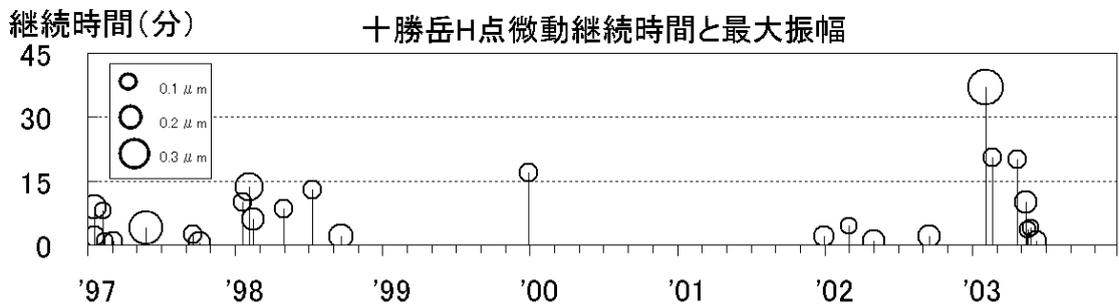
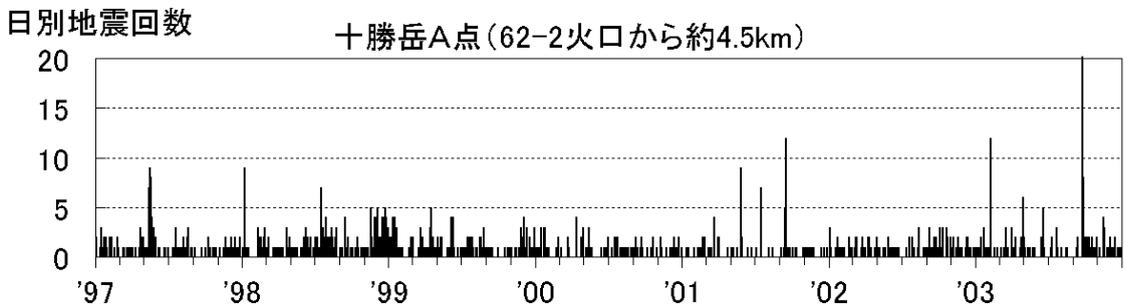
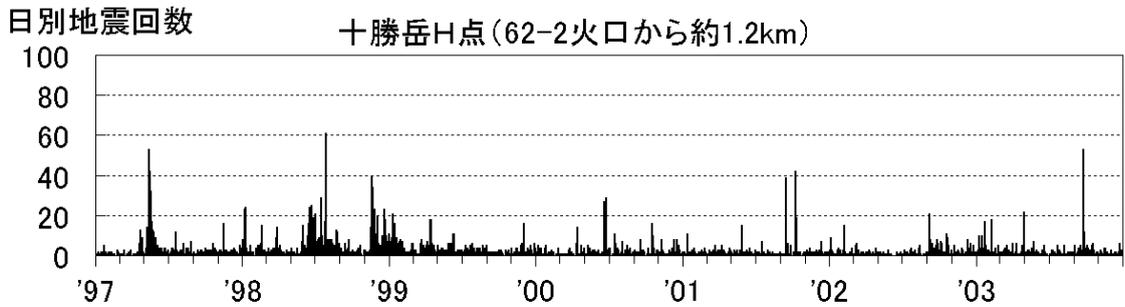
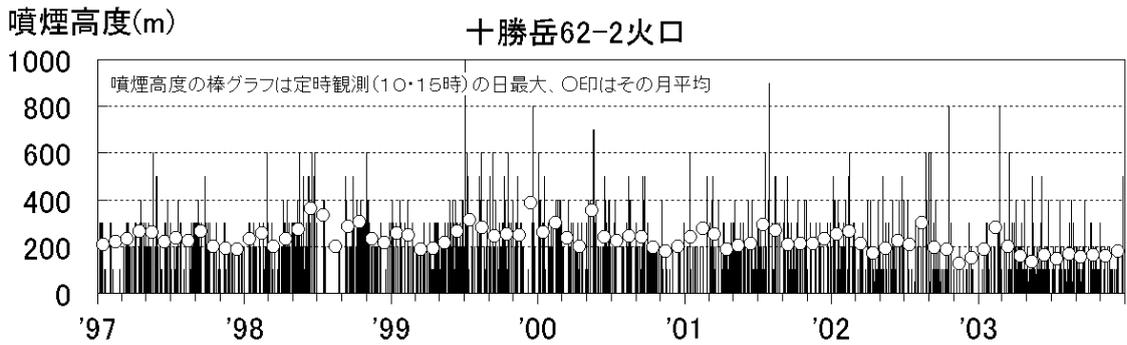
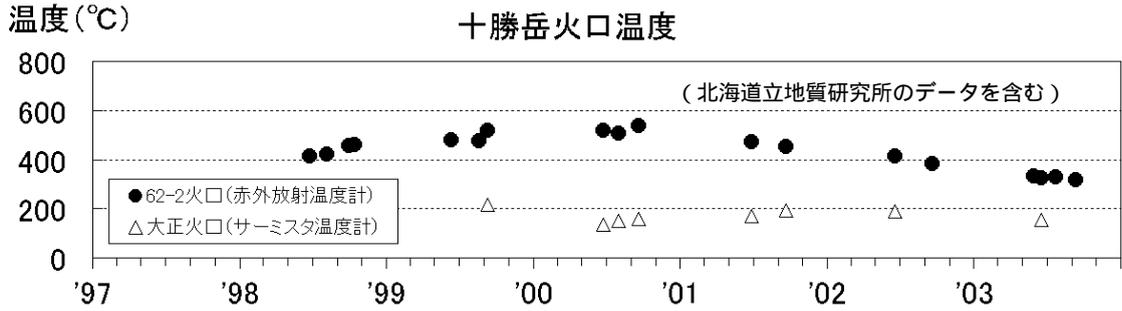
62-2 火口は 2000 年以降火口温度に低下傾向が見られますが、依然活発な噴煙活動を継続しており、火口温度も 300 以上と高温の状態が続いています。その他の火口や地熱域の状況には大きな変化は認められませんでした。

6 上空からの観測結果

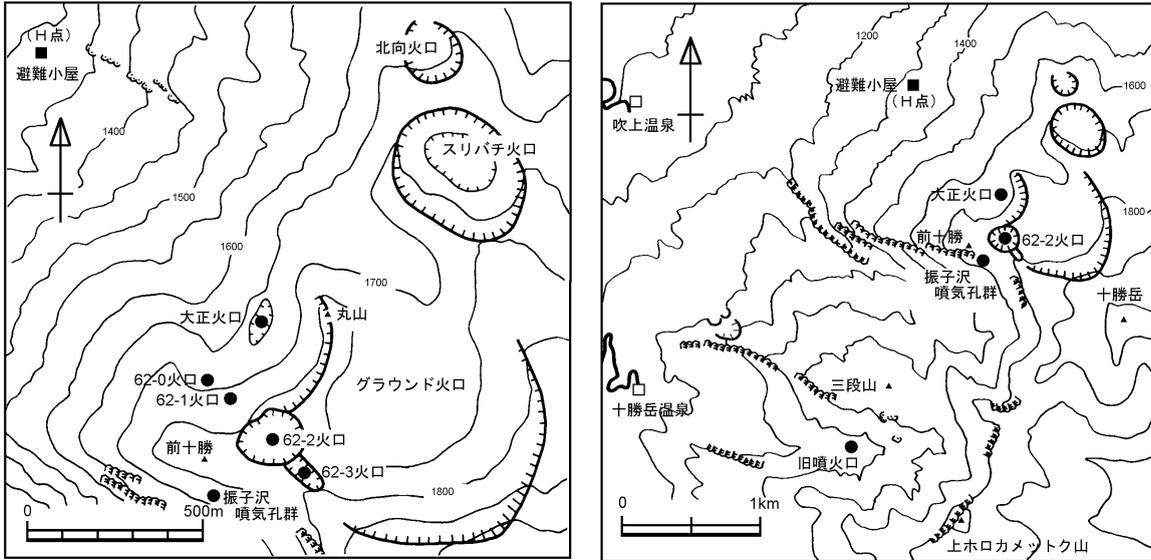
北海道、北海道開発局の協力により、5月20日、6月18日にそれぞれ上空からの観測を実施しました。62-2 火口は依然活発な噴煙活動が継続していたほか、大正火口壁の数か所で噴気が確認できました。また、旧噴火口では所々で弱い噴気が認められました。これらの状況に特に変化はなく、62-0、62-1 火口などの地熱分布にも変化は認められませんでした。



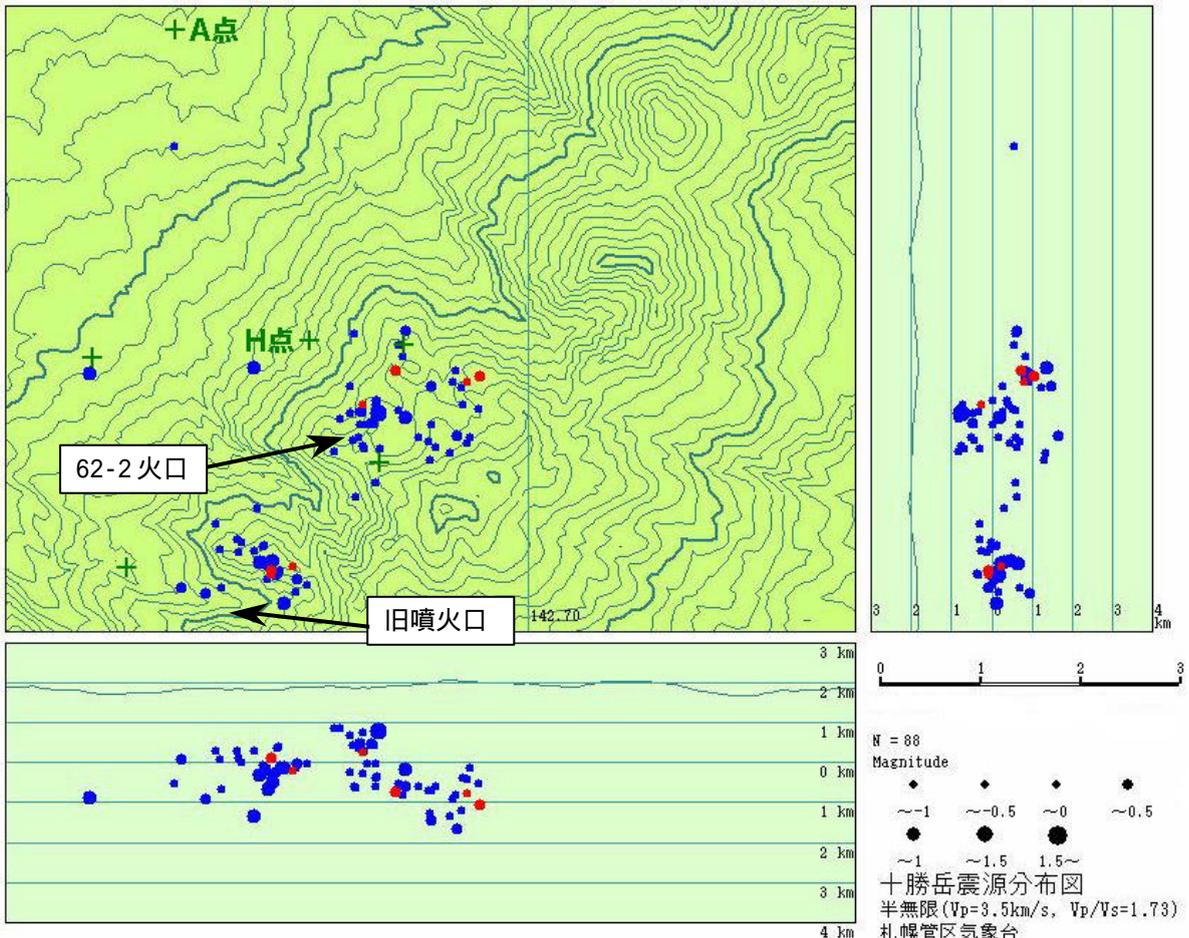
十勝岳基線長変化
(2001年9月13日~2003年12月31日)



十勝岳火山活動経過図(日別、1997年1月1日~2003年12月31日) 印は噴火



十勝岳火口周辺図



十勝岳震源分布図

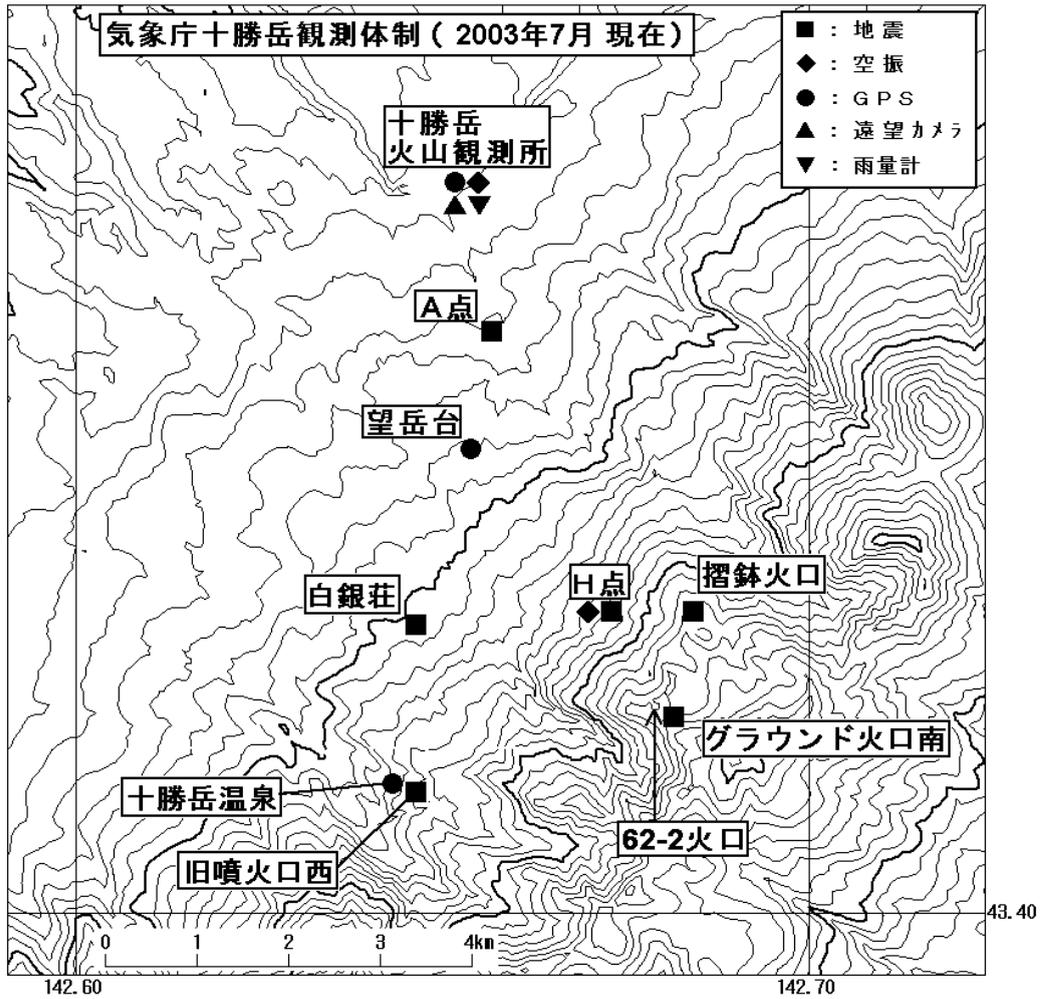
+ 印は地震観測点

震源表示 赤：2003年12月1日～12月31日

青：2003年8月1日～11月30日（8月以降震源決定が可能となる）

震源は大きく分けて 62-2 火口周辺と旧噴火口周辺の浅部（海拔付近）に集中しており、12月の活動もこれらの領域内で発生しています。

観測点情報



観測点一覧表 十勝岳

記号	測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始年月
			緯度(度分)	経度(度分)	標高(m)		
	地震計	A点	43 27.5	142 39.4	763	0	1977年10月
		H点	43 25.8	142 40.4	1355	-2	1997年1月
		摺鉢火口	43 25.8	142 41.1	1685	0	2003年7月
		グラウンド火口南	43 25.2	142 40.9	1802	0	2003年7月
		白銀荘	43 25.7	142 38.8	1017	0	2003年7月
		旧噴火口西	43 24.6	142 39.1	1285	0	2003年7月
	空振計	火山観測所	43 28.4	143 39.2	651	4	1989年10月
		H点	43 25.8	142 40.4	1355	4	1997年9月
	遠望カメラ	火山観測所	43 28.4	143 39.2	651	4	1989年10月
	GPS	火山観測所	43 28.4	143 39.2	651	8	2001年9月
		望岳台	43 26.8	142 39.2	924	4	2001年9月
		十勝岳温泉	43 24.7	142 38.8	1369	4	2001年9月

(位置は日本測地系の値です)